



風っ子・環境キャンペーン

前橋市

計画的なススキ刈りで 赤城山の自然を復活

赤城山の自然保護活動推進協議会



作業前に笑顔を見せる参加者。今年も過去2年連続で活動をした覚満淵の北側で500平方メートルのススキを刈りました

上毛かるたの「す」の読み札で親しまれている赤城山は、100種類以上の植物が育つ貴重な場所です。亜高山帯に達する活火山であり、太平洋側の気候に加え日本海側の気候の影響も受ける赤城ならではの自然環境が、他では見られないほどの多くの植物を育んできたのです。

ところが、時代と共にさまざまな形で人が関わってこると、植物の群落や種類も変わってきました。最近、問題になっているのは、覚満淵のススキの株の大型化です。株が大きくなったため、元々あった植物が育つ場所を奪われ、少なくなりました。

そこで、赤城山の自然に関心を寄せる保護団体と専門家が集まって、ススキ刈りをすることにしました。今年で3回目となるこの活動は、ススキが翌年に向けて地下茎に栄養を蓄える前、8月の暑い中に行っています。参加者は、人の背丈をはるかに超える2メートルほどの高さに成長したススキだけを、鎌を使って根元から丁寧に刈り取りました。こうすることで今後、株が小さくなって他の植物が育つスペースが確保しやすくなるそうです。

「成果は確実に表れています」と話すのは、赤城山の植物の研究をしている片野光一さん。過去に刈り取ったところはススキの背丈が20〜40センチも低くなって密度も低下し、タムラソウやウツボグサなど、かつて覚満淵でよく見られた植物が増えてきたそうです。みんなの力で、赤城山は多くの草花が見られたころの姿に戻り始めています。



軽そうに見えますが、束になるとずっしりと重いススキ。大変な作業です

風っ子・環境キャンペーンを応援します

赤城山の自然保護活動推進協議会

泉川城会長 8団体
事務局 (NPO法人 赤城自然塾)
前橋市堀越町1115 前橋市大胡支所内
TEL.027-212-2611
<https://www.akagi-trip.com/>

鹿の食害から植物を守るための柵の取り付けや、レンゲツツジの枯れ枝の剪定など、覚満淵の自然を守る活動をしています。



おお 大きくなると刈り取るのが大変そうだなあ

群馬県のマスコット「くまちゃん」 許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

トイレの使い方を工夫して、CO₂削減

トイレ(暖房便座)のふたを閉めるだけで、CO₂が削減できるということを知っていますか? 使わないときにふたを閉めると、便座を暖めなくてよいので電気代の節約になります。また、設定温度を弱にすることも電気代の節約になります。電気代を節約する、つまり電気を使う量を少なくすると、電気を生み出す際に発生するCO₂も削減されます。トイレを使用するときには、設定温度に気をつけて、そして使用後はきちんとふたを閉めてCO₂を削減しましょう。

群馬県環境サポートセンター